

地域づくり新聞 隅田区

平成 28 年 3 月 発行

No.1

隅田町内会

インタビュー



たがさぼスタッフの説明に耳を傾ける役員さん／隅田集会所

平成 27 年 12 月 3 日、多賀城市市民活動サポートセンター（以下、たがさぼ）のスタッフが隅田集会所におじゃまし、佐藤司区長さんをはじめとする役員さん、民生委員さん 6 名に町内会活動や地域の状況について、インタビューさせていただきました。

たがさぼは、町内会・自治会、NPO、ボランティア団体など地域で活動する団体、個人を応援する施設です。今回、伺った町内会活動や地域の状況は、貴重な参考事例として、多賀城の地域づくりに活かして参ります。

「すみだ」が映す

地域の姿

会報「すみだ」は、平成 7 年 5 月に創刊され、いまは 22 号（平成 28 年 3 月時点）まで月 1 回発行されています。記念すべき 200 号発行のときは河北新報にも取り上げられ、高く評価されました。「すみだ」の原稿は、地域の

方の協力を得ながら作成しています。楽しい行事の様子から町内会の運営状況、緊急時の連絡先の掲載など、住民の方に有益な地域情報を発信し、町内会と住民の皆さんをつなぐ会報として、地域の姿を映しています。

共感と交流を育む

隅田会文化祭

隅田会文化祭は、平成 27 年で 20 回目を迎えた隅田会の名物行事です。地域住民約 30 名の方々が、写真、絵画、生け花、盆栽、紙細工などの作品や時には自分の宝物を持参され、集会所に展示しています。

作品を通して、お互いの特技や趣味を知ることにもつながり、共感や交流を育む行事として、住民の方に好評です。最近では、他の区の方も作品を展示することがあり、区の垣根を越えた交流も生まれ、隅田会の自慢行事として開催されています。

一緒に
考えたい

地域の困いごと

町内会への

関わりが減少

隅田区ではその昔、外でたくさんの子どもたちの遊び声が行き交い、若い親世代の子ども会への参加も多く、町内会活動も大変盛んで、地域一体家族ぐるみの付き合いがありました。

しかし、いまでは高齢化で子どもの数が減少し、近所との付き合いも少なく、町内会行事に参加する人も年々減少しています。20年間続いた婦人部も、活動の担い手が不足し、現在は活動休止となっています。役員さんは、住民の皆さんが、どうすれば町内会に関わってくれるか、工夫しています。

たがさぼちゃん



・この四コママンガは、地区のみなさんから伺ったお話を参考に、たがさぼスタッフが制作しました。
・たがさぼちゃんは、たがさぼのイメージキャラクターです。

ちょっと

役立つ情報

地域づくり
お役立ちガイド



まずは住民の皆さんが何を考えているかを知るためにも、話し合いの場をつくるのが大切です。話し合いを通して、地域の多様な人材が見えてきます。左図のマンガで、サククスを演奏する方は役員になったことで、地域の活動が変化しました。一人一人の特技や工夫を引き出し、地域の困りごとを解決する方法もあります。

たがさぼ発行の「地域づくりお役立ちガイド」には、そのポイントを絞って紹介していますので、ぜひご参考にしてください。

みんなの

隅田集会所

今回、お話しさせていただいた隅田集会所は、もとは民家で、一般住宅と同じ間取りです。これまで、たがさぼスタッフも何度か行事にお招きいただいたこともあり、家庭的な雰囲気の中、お話しさせていただきました。



緑の掲示板が目印の隅田集会所

多賀城市市民活動サポートセンター
(たがさぼ) ってどんなところ？

町内会・自治会、NPO、ボランティア団体など地域づくりのために活動する人たちの拠点施設です。
市民の力による、地域の「困った」を解決する活動やまちの魅力を高める活動をサポートしています。